

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「町民の皆様、本当にお世話になっております」

日頃から町民の皆様には、教育行政の推進にあたり、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、新型コロナウイルス感染症のまん延がみられ、様々な事業を変更したり中止したりすることが多くなりました。そのような中で、町民の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただき、子どもたちの健全育成を進めてまいりました。これからも、学校と家庭・地域の連携を大切にし、教育行政を進めていきたいと考えております。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策をしていただきながら、太陽の強い日差しが照りつける中、また、雪が舞う中、各地域で子どもたちの登下校に合わせて、防犯・安全活動を実施していただきました。「子ども安全パトロール員」の方々の積極的な見守りや声かけにより、子どもたちの安心・安全な登下校が保たれています。本当にありがとうございます。

6年目を迎えました「さとしょう未来塾」につきましても、予定通りの事業を行えないことが多く、残念でした。しかし、子どもたちの体験学習の場を増やそうと、新型コロナウイルス感染症のまん延の状況をみながら、冒険DAYキャンプを白石島・北木島で行うことができました。当日は、予想を上回る参加者があり、子どもたちの元気な声と笑顔があふれる、有意義な活動を行うことができました。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、事業を推進することとなりますが、地域の皆様方をはじめ、各種団体や町内企業の方々に、積極的に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をお願いしたいと考えております。

引き続き、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校・家庭・地域との連携を深めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：事務局長 小寺 大輔)

スマートフォン・ゲームの適切な利用について

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に、スマートフォンやゲームを持ち始める時に、ルールを守れる環境をつくった上で、使うことが大切になります。お子様が持ち始める時に、親子でしっかりと話し合い、ペアレンタルコントロール（利用時間制限、アプリの制限等）を活用して、親子でしっかりと話し合ってルールづくりを進め、安全・安心に日々が送れますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(教育長 杉本 秀樹)

※裏面に関連記事があります。

里庄町「生きる力」向上プロジェクト

“さとしょう未来塾”里ちゃんチャレンジ・ワールド

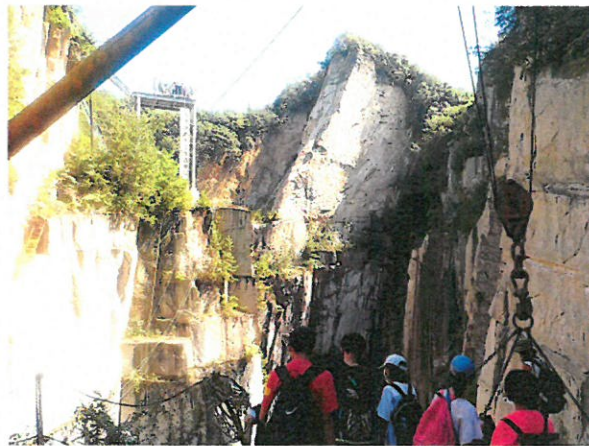
里庄町教育委員会では体験活動を通して、子どもたちに「生きる力」を養う活動を地域の方々のご支援をいただき、里ちゃんチャレンジ・ワールドとして行っています。

「冒険 DAY キャンプ 2021 in 白石島・北木島」～小学校最後の夏、思い出をみんなで作ろう！～

7月30日、里庄東・西小学校6年生55名が笠岡諸島白石島・北木島で行った冒険 DAY キャンプに参加しました。白石島でシーカヤックを体験し、北木島では日本遺産構成文化財の「石切りの溪谷」(採石場)などを巡りました。大変暑い日でしたが、参加した子どもたちは目を輝かせ、小学生最後の夏の思い出をつくりました。



シーカヤック(白石島)



石切りの溪谷(北木島)

「大原焼に挑戦」～大原焼の話・実技を通して、ふるさとの素晴らしさを知ろう～

10月31日、11月27日の2日間、17名の子どもたちが、大原焼プロジェクトの方々に指導していただき、大原焼体験をしました。今年は、「コロナや心の鬼を追い払おう!」をテーマに、「鬼」のお面作りに取り組みました。お面には子どもたちの「コロナがおさまるように」「健康ですごせるように」など、様々な願いが込められていて、思い思いの鬼を表現しようと一生懸命制作しました。



大原焼の歴史について講義



お面作り(成型)



出来上がった「鬼のお面」

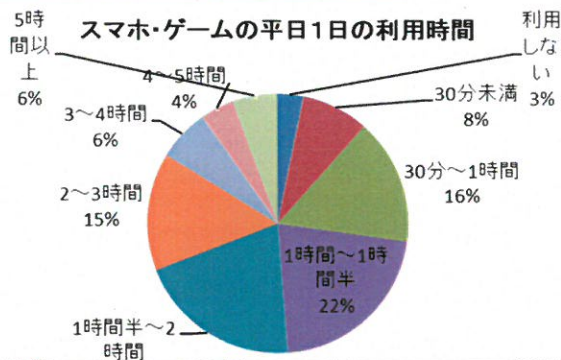
(文責:蜂谷 真治、小椋 美紀)

里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

里庄町教育委員会では、毎年、スマートフォン・ゲームの使い方についてのアンケートを実施しています。今年度は12月に、小学4年生から中学3年生までの子どもたちに実態調査を行いました。その結果から気になる質問項目について紹介します。

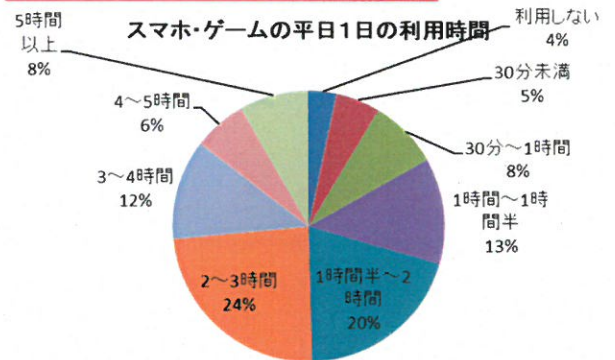
子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。**ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。**（文責：天野 正彦）

小学校（4年生～6年生）



2時間以上利用している子どもが約3割

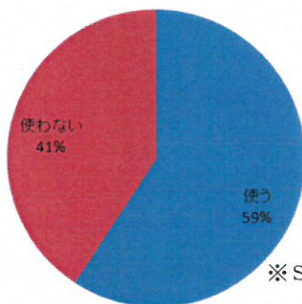
中学校（1年生～3年生）



2時間以上利用している子どもが約5割

小学校（4年生～6年生）

普段インターネットやSNSを使っているか

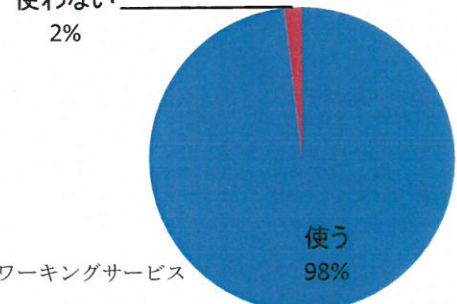


※ SNS・・・ソーシャルネットワーキングサービス

普段インターネットやSNSを利用している子どもが約6割

中学校（1年生～3年生）

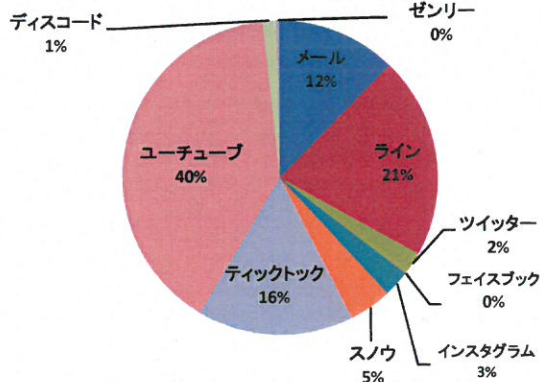
普段インターネットやSNSを使っているか



普段インターネットやSNSを利用している子どもがほぼ10割

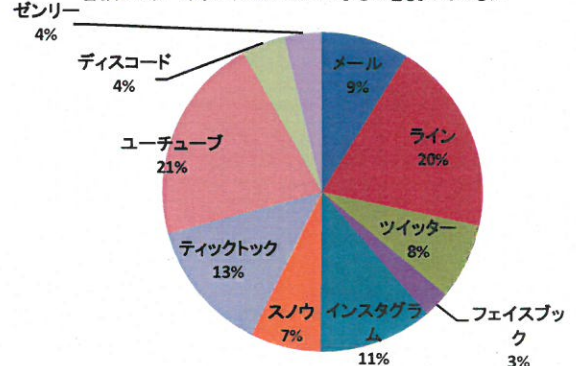
小学校（4年生～6年生）

普段インターネットやSNSでどんなものを使っているか



中学校（1年生～3年生）

普段インターネットやSNSでどんなものを使っているか

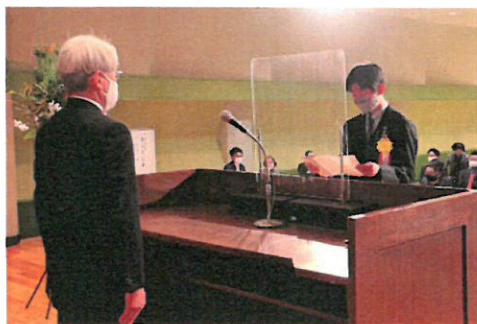


子どもたちは、多種多様な使い方をしています。それぞれどんなアプリかご存じですか？

令和 4 年成人式 ～新成人の輝かしい未来を祈って～



町民憲章を黙読する様子



成人式で謝辞を述べる様子

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が、晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、成人式を実施しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年は1月9日（日）に実施され、76名の新成人が参加しました。

式典は、新型コロナウイルス感染症対策として、歌や町民憲章の唱和を中止し、席の間隔を広く空けて行われました。新成人代表者は「生活様式が、日々激変する中でも、私たちは、自分の進む道に希望や夢を持って、これからも進んでいきます」と決意を述べました。

式典終了後に、行われた恩師ビデオレターの上映では、当時の小中学校の先生方からお祝いのメッセージと、当時の体育会や修学旅行などの映像が放映され、懐かしい顔や出来事に歓声があがり、笑顔あふれるひとときとなりました。

里庄町並びに教育委員会は、新成人の皆様のご健勝と、いっそうのご活躍をお祈り申し上げます。

（文責：吉川 大和）

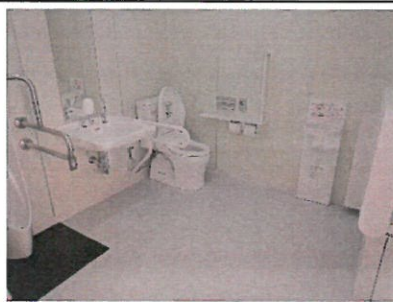
学校教育施設の衛生環境を改善するために

学校施設は児童生徒等の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として、地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものです。日常のみならず災害時においても、十分な機能性を有することが求められます。教育委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として、有事の際に避難所として開放する公立の小・中学校の屋内運動場へ、密を回避し窓を開けて換気しながらも、十分な空調機能を確保するための冷暖房設備を完備しました。また、西小学校では校内トイレの一部を、より感染リスクの低い洋式・乾式への改修を進めました。さらに、学校における多目的トイレを新設するなど、ウイルスからの感染リスクの軽減を図り、子どもたちが安全で安心して学校での生活を過ごすことができるように、引き続き教育施設における環境の改善に努めて参ります。

（文責：淡路 尚久）



屋内運動場冷暖房設備



西小学校多目的トイレ新設



西小学校児童専用トイレ改修